



To do my duty to God and my country and
To obey the Scout Law
To help other people at all times
To keep myself physically strong
Mentally awake, and morally straight

アメリカの社会では第一線で活躍している人にスカウト出身者が多いが、その代表的な人はケネディ、フォード大統領、アームストロング船長などである。

その他実業界、政界、教育界、そして軍隊においても盛んに活躍している。そのためスカウト出身者、特にイーグルスカウト（日本の富士スカウト）の社会的評価は特に高い。

イギリスにおいても同じことがいえる。クイーンスカウトと呼ばれ、エリザベス女王の名のもとに授与される。

○先年アメリカ極東連盟のイーグルスカウト認証式に参加した。沖縄からアメリカ極東軍最高司令官、ゴードン将軍が横浜まで出張され、4名のイーグルスカウトに対し、その記章を授与された。

そのとき、アメリカ国歌が演奏され、国旗の前で祝辞がのべられた。特記すべきことは、その両親、特に母親に対し、記念のネックレスが贈られたことである。

その家庭からイーグルスカウトを出すことは家庭の名誉だけにとどまらず、公民として、合衆国政府に対する忠誠ということであるから、大統領の名のもとに、感謝とお祝いとを彼は述べたのである。そして彼はつけ加えていった。

I was an Eagle Scout, also.

彼もまた、少年時代イーグルスカウトであった。その夜は多くのスカウト関係者が集まり、お祝いのパーティーを開いた。

○これに対して日本の富士スカウトの社会的評価はどうか。一級スカウトまでの従来の進歩制度の上に、昭和26年、菊、隼、富士の制度が制定されてから、52年3月までの間に全国でわずかに182名に過ぎない。

スカウトなら常に向上の意気を持ちつづけて富士スカウトをめざせ、そして、富士スカウトをつくれるよう、指導者は協力せよ。進歩制度の意義を否定したらスカウティングにならない。進歩制、そして班制の2つはスカウト教育の2大制度と呼ばれ、他の青少年団体にはない特色である。

〔3〕「ちかい」の語句の現わすもの

スカウトの名誉とは、どういうことだろう。

神(仏)に誠をつくすとはどういうことだろう。英語の直訳なら神に対するデュティ(義務)ということなのだが、具体的には何を指すのか。

では、国に誠をつくすということは、何であるのか。

徳を養いますという意味は、徳ということばは東洋的な思想、論語からきているように思う

アメリカのハンドブックには

Morally Straight.

You live and act and speak, in ways that mark you as a boy who will grow up to be a man of good character. You are honest, clean in speech and actions, thoughtful of the rights of others, and faithful to your religious beliefs.

と書かれている。参考までに東洋的解釈では、徳とは――

- ・心に養い身に得たところ
- ・人道をさとして行い現わすこと
- ・道徳的によい行いをする習慣
- ・人を感化し敬服させる力
- ・思慮を表わすこと、またそれを受けることのめぐみ、おかげ

「孔子」徳は孤ならず必ず類あり。すなわち孤立することはない。類を同じくする有能な人が来てたすけるものである。

とある。考えてみると、要は慕われる人になります。そのように自分から努力し、向上してゆくように励みます(養います)という意味にとれるが問題は、その努力の課程にあると思う。

そのためには正しい言葉、そして活動、信念に基づく行動人格というような意味が英文には書いてあり、他人に対する思いやり、自分と同じように他人を大切にすることということも要素になってくると思う。(ちーやん夜話集)

自分本位では決して他人に慕われ、よい印象をもたせることはできないであろうから。すなわち他の人々に幸福をもたらすことである。

しかし、誠とか徳とかいう言葉はあまりにも広義であって、とうてい言い現わせるものではないであろう。

[4] 人間はすべて自分本位にできている

そのことをみんなが知っておく必要がある。他人よりまず自分。自己主張、人間は生まれながらにそうなのだ。

いま船が沈もうとしているとき、他人より自分がまず助かりたいと思わない人間が果たしているだろうか。

乳ばなれをしない赤ん坊2人に乳を一緒に飲ませようとする、1人が手でもう1人を押しつけるという。

そのことを考えると、火事するとき、戦争で空襲を受けたとき、また雪国で母子が雪の下に埋もれたとき、身をもって子供をかばい、その命を救った母の愛は偉大だ。

- ・神は愛なり(キリスト)……他人のために自らの命をすてるほど大きな愛はない(聖書)

- ・仏教では仏を大いなる慈悲と教えている。

神は愛なり、仏は慈悲なり、では愛とは? 慈悲とは? そのあとは、それぞれの宗数の教えにつながってくる。

ローランドフィリップ パトロールシステムと班長への手紙……1ページ詩篇参照

[5] スカウトの名誉

そして3つのちかいはスカウトの名誉にかけつけよう。では、その最も基となる名誉とは。

(スカウティング フォア ボイズ)

スカウトの名誉とは、他の人々から信用されることである。

(おきて、誠実の意味のところ)

スカウトの真の資格は、信用され得る人間にのみ与えられる。うそをいわず、ごまかしをせず、信頼されて託された任務を正確に行うことなどは、すべてスカウトの名誉を保つ基礎である。

スカウトの名誉に関する B-P の言葉は厳しい。よく「スカウティング フォア ボイズ」を読み、考えてみるのが大切である。

信用とは、お金では買えない。それは長い間

の積み重ね、努力によって築かれてゆくもの。むずかしい、苦しいその試練を乗り越えて責任を果たしてこそ名誉はたもたれてゆく。

ソング「若者の歌」の意味を考えてみよう。

〔6〕SCOUTとは

先にたつもの、兵隊の斥候、先駆者という意味。しかし、スカウティングは人生の方向を示す（スカウト章、北を指すコンパス）のだからこれほどむずかしい道はない。

- ・神のチームの1人としての仕事（隊長の手引 P.103以降）
- ・スカウティングは神より生まれ、神はスカウトと共にいます（ローランドフィリップス）
- ・スカウトたちよ、君たちは栄光に輝く神の軍隊である（カトリックボーイスカウトハンドブックから）

スカウトたちに対する先人の残した言葉は多い。それはスカウトたちが神に対する義務を成す(DO)ということ、信仰という言葉がよく理解されてきた時、(仏教では帰依といっている)勉強してくるとだんだんわかってくるだろう。

けれどわかっても実行はさらにむずかしい。「ローバーリング ツウ サクセス」には人生における5つの障害の中に無宗教をあげている。

「もし、スカウティングより宗教を抜いたらそれは失敗に終わるのであろう」(スカウティング フォア ボイズ)

「私のいう信仰とは To do my duty to Goodであって、To be loyal to God ではないことに注意していただきたい」(隊長の手引 P.103)

その意とするところは何か。みんなできよく考えよう。自分は自分なりにベストをつくしています。やっています。なんていってもその評価をするものは神ならぬ身の自分ではない。

スカウトの組織では、班長会議(名誉会議)がそれを評価する。隊の名誉を保持すること、それはシニア隊の班長会議のいちばん大切な任務のひとつであるからである。いま、スカウトに対する一般社会の信用度はかなり大きくな

りつつある。また期待もされている。

毎年の入隊申込者をさばききれないのは社会が、子供をもつ親の期待が大きいからである。

外国へ行くと信用がさらに大きいことがわかる。しかし、それは現代のスカウトたちの努力だけで成し得たものではない。60年余りのうちにかくも大きく世界中に広まっていった青少年運動は他に例を見ない。

美しく咲きほこった花は、それがどんな風雪に耐え、障害を乗り越えて来たかを知らなければならぬ。その花を、先人の後にひきつづいてさらに咲かせよう。それが今日のスカウトの義務だ。50周年記念のスカウトソング「年輪」を歌ってごらん。

どんなことがおきても、他人の周囲の責任にするな。周囲にふりまわされるな。スカウトの道しるべはリーダーでも、先生でも家でもなく、スカウトのおきてだけなのだ。

自分のカヌーは自分でこげよ

〔7〕国に誠をつくすということとは

日本の国を、人を、野を、山を、こよなく愛すること。2,000年以上の歴史が日本という国をつくってきた。

残念なことは島国であったから外国から侵略されなかった代わりに国際的な感覚に乏しい。お互いに自分本位、そのために外交を失敗し、ルックワイドをしないで不幸な戦争を招いた。21世紀に向かって羽ばたく君たち、人生の方向を示すという大きな理想をもつスカウト、国際的な感覚を身につけよう。

世界の中の日本の姿をよく考えてみよう。その経済、政治、宗教、文学、歴史、医学、工業力、そして民族性、そのすべてにわたって。

でも、いまはみんなが中学生、高校生であって政治家でもなく、環境庁長官でもない。

リンカーンはまずしい水夫だった。彼はどれだけの悲惨な姿を見て、これではいけないと思った。けれど若い彼にはそれができなかった。彼は勉強し、努力した。そして大統領になったとき、その理想を成し遂げた。

バーデン・パウエルはインドに駐留し、また
メーフキングで土民軍と戦った。軍人としての
彼は見事にその義務を果たした。しかし、その
心の中にあったものは、何であったろうか。牧
師の家庭に育ち、熱心なクリスチャンとして人
類愛(ヒューマニズム)ということを考えていた
B-P は人間と人間とが血を流しあわねばなら
ない悲惨な現状に心を痛めていたのではなから
うか。それが若い少年たちにその遺志をつがせ
て理想の世界をつくらうとする平和運動、スカ
ウトの発想理念ではなからうか。

だから、スカウトである君たちが将来のため
に成すべきことは

- (1)学生としての Duty
- (2)スカウトとしての Duty
- (3)家の中で家庭の中の1人の少年としての
Duty
- (4)そして、社会人としての Duty

いま、何をすべきか。リンカーンのように一
生懸命努力することだ。力のつづく限り、毎日
毎日をせいっぱい生きるのだ。そして、スカ
ウトとしての Duty は、いつも他の人々のこと
を考え、思いやりを持つこと、思いやりとは同
情して甘やかせることではない。その人の立場
になって考えることだ。

それだけにとどまるということは、すなわち
退歩と考えよう。個人も班も隊もたえず進歩し
てゆくよう努力しよう。

シニア隊は、年ごとに充実してゆくだらう
か。キャンプ技能が、信号が、パイオニアリン
グがうまくなるのが真の進歩ではない。自分た



ちの社会、そして国が少しでもよくなってゆく
よう、それぞれの立場で努力することだ。

〔8〕自分の信念

自分の信ずる道を進む。自信を持つことは何
よりも大切なことだ。でも、これは逆に考える
と大変な危険なことも含んでいる。他人のいう
こと、助言には一切耳を貸さず、思いこみだけ
で進む。価値判断の基準を自分におくことは、
自分が神さまになっていることと同じだ。

若いスカウトたち、今まで述べてきたことを
よく考えてごらん。そして、自分の心を写す鏡
(スカウト章えい智の鏡)に心をうつし、絶対
者(神、仏の教えるところ)によって自分をいま
しめ、評価、反省そして飛躍してゆくことだ。

そうでないと自分が神さまの気で暴君になっ
てしまう。そうなれば人間としての進歩もなく
向上もない。そして自分の物さしで他人をはか
る。そして、やがて孤立してしまい、自分の能
力を自分で殺してしまう。とうてい、他の人々
のためになどつくせるものではない。考えるの
は、実行するのは自分自身、他人の悪口、批判
をするな。もし、自分を知ってほしかったら、
時間をかけ誠意と実行とをもって示すことだ。

自分には厳しく、他人には寛容であれ。そう
すれば必ず同志もでき、いつの日にか必ずわか
ってもらえる日がくる。もしも君の考えている
ことが真理であったならば。

あせっては身の破滅。ボーイスカウトは組
織体の中で自己研さんをすること。周囲は
決して自分の思うようにはまわっていない。
今日までは、ご両親の愛と、君たちをとりま
く人の温かい愛の保護のもとに育ってきた君
たちスカウトにも大人の世界に入ってゆくと
世の中の醜さ、人間関係のむずかしさもだん
だんわかってくるだろう。その中に入ってど
のように人生の道を歩むか。君たちはもうカ
ヌーに乗っている。カヌーの船は「正しい判
断号 GOOD RESOLUTION」なのだ。(ロ
ーバーリング ツウ サクセス)

(神奈川連盟副コミッショナー、医博)